

国際センター通信(No.108)

世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ第 18 回シンポジウム

「モンゴル国首都空港の建設・育成・運営の挑戦： 新ウランバートル国際空港プロジェクト」

2021 年 5 月 31 日、土木学会国際センター主催により、世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ第 18 回シンポジウム「モンゴル国首都空港の建設・育成・運営の挑戦：新ウランバートル国際空港プロジェクト」が開催されました。本件は、昨年準備を進めてきたものですが、新型コロナウイルス感染症拡大により、同空港の開港が延期されていたことに伴い、本年 5 月の開催となりました。国土交通省航空局奥田技術審議官、家田土木学会会長の挨拶に続き、国土交通省航空局森室長、JICA 社会基盤部近藤副調査役、大分市木原副市長（元 JICA 長期専門家）、成田国際空港(株)国際業務室芦田マネージャーの 4 名より、国土交通省、JICA の海外空港分野への取り組み、モンゴルへの支援状況、現地でのプロジェクトの進行や、技術移転についての説明がありました。特に、コロナ禍で開港が 1 年延期されたことの影響など、タイムリーな事例が紹介されました。さらに、3 年半ほど現地に滞在された

木原氏からは、モンゴルの生活や文化などについてご紹介いただきました。空港プロジェクトだけでなく、モンゴルの雄大な大自然を感じさせるスライドもあり、内容の非常に濃い 3 時間でした。

本シンポジウムは全面オンライン形式で、参加人員はこれまでの規模をはるかに上回り事前に 400 名を超える申し込みを頂きました。モンゴルという馴染みの少ない国への興味と、建設・管理一体となった日本からモンゴルへの質の高いプロジェクトの魅力が多くの方々の興味を引いたのだと思います。また、これまで本シリーズで取り上げていなかった、空港プロジェクトを扱うことにより、幅広い方々にもご参加いただけたのかなと考えております。本空港が、モンゴルの新しい空の玄関として発展することを祈念するとともに、今回のシンポジウム開催に関係した方々のご協力に感謝したいと思います。

次回(11 月 9 日)は、これまでと少し趣向を変え、海外交通インフラの運営をテーマに、港湾、道路などの事例を中心にシンポジウムを開催致します。

国際センターHP(<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/234>)よりお申込みください。

【記：鈴木 勝 (国際センター プロジェクト Gr. リーダー)】



オンラインイベント 『今年の夏は、おうちで土木』

土木学会土木広報センター(市民交流グループ 土木魅力グループ)では、2021年7月17日(土)と8月21日(土)の2日間にわたり、「『今年の夏は、お家で土木』～めざせ！未来のどぼく博士!!～」と題したオンラインイベントを企画・実施しました。

これまでも土木広報センターでは2017年～2019年にかけて毎年7月に土木学会本部構内(東京都新宿区四谷)で「オープンキャンパス土木学会」を開催し、学会関係者やその家族、土木分野への進学・就職希望者など、多数の方々を学会本部へお招きし、様々な体験型プログラムや映画鑑賞会等を通じ、『土木』への理解を深めていただく場を提供してきました。しかし、昨年から続く新型コロナウイルスの影響により、従来の「オープンキャンパス土木学会」のように参加者を土木学会構内に直接お招きすることが困難なため、今年度は従来の直接参加方式に代わる新たな体験型オンラインイベントとして、『今年の夏は、おうちで土木』～めざせ！未来のどぼく博士!!～を開催することとしました。

参加者の対象は、小学生(3～6年生推奨)で、当初12名の募集予定としていましたが希望者が多く、最終的に19名にご参加いただきました。1コマの時間を50分～1時間程度に設定して、1日あたり2コマずつ、合計4コマでの構成としました。参加者にはイベントで使う実験キットやレポート用紙を事前に送付し、当日Zoomを利用して、先生(土木学会)と参加者(小学生)が双方向にコミュニケーションを取りながら授業形式でイベントを楽しんでいただきました。

各コンテンツのタイトルは1コマ目が『がけ崩れから家族を守ろう』、2コマ目が『建物のゆれはどうか？』、3コマ目が『〇△□…強いトンネルの形は？』、4コマ目が『どぼくカルタで“あいうえお”』で、1～3コマ目は実験、4コマ目は土木学会で制作した『土木かるた』を使ったかるた大会とし、4コマすべての授業に参加した方には、土木学会より『どぼく博士』の認定証を授与しました。

このようなイベントは初めての試みだったため、企画時点では、参加者とうまくコミュニケーションを取りながら円滑に進行できるか不安な面もありましたが、講師の方の事前の入念なリハーサルと、参加者(小学生)が本イベントを夏休みの自由研究としても活用していただける利点も相まって、イベント当日は大いに盛り上がり、後日行った参加者へのアンケート結果でも好評価をいただくことができました。今回の経験を今後同様のオンラインイベントにも活かしていけたらと考えています。



川上 佐知
(土木広報センター
市民交流グループ
土木の魅力 グループ長)

公益社団法人土木学会 土木広報センターは、小学生を対象にした夏の自由研究オンラインイベント『今年の夏は、おうちで土木』を開催します!!
すべての回にご参加いただいたお子様には土木学会より『どぼく博士』の認定証を授与いたします!

7/17(土) 10:30～ Presented by 地盤工学会員 がけ崩れから家族を守ろう 最近、はげしい雨の影響で、がけ崩れのニュースをよく見ます。がけ崩れからお家を守るにはどうしたらよいでしょうか? 斜面防災の先進型模型実験で確かめてみましょう!!	7/17(土) 13:30～ Presented by 構造工学会員 建物のゆれはどうか? 建物にはゆれやすい箇所があります。2階建てのお家と30階建てのビルのゆれのちがいは想像できますか? 模型をつくって実験してみましょう!!
8/21(土) 10:30～ Presented by トンネル工学会員 〇△□…強いトンネルの形は? トンネルの形はなぜ丸いのでしょうか? 三角じゃダメ? 四角じゃダメ? 本当に強いトンネルの形はどれなのか、一緒に実験してみましょう!!	8/21(土) 13:30～ Presented by コンサルタント委員会 どぼくカルタで“あいうえお” ダム、トンネル、道路、橋、公園、海岸など... 実は、私たちのまわりは「土木」がいっぱい!! かるた大会で楽しく土木を学んでみましょう!!

対 象 : 小学生(小学3～6年生推奨)
 ※ 内容にオンライン実験教室を行うため、保護者の方は必ず出席してください。
 ※ 7月17日(土)と21日(土)に行われるすべての授業に参加できる方
 ※ パソコンやタブレットに接続して、Zoomにアクセスできる方
 ※ 音声と映像は常時 ON にできる方(騒音がひどいなどの場合を除く)
 募集人員 : 12名(応募者多数の場合は抽選となります。当選結果は7/17(水)にご連絡します。)
 参加費 : 無 料
 開催方法 : ① オンライン会議システム「Zoom」を利用して開催します。
 ② 参加者には、開催日の2～3日前に実験キットをご自宅へお送りします。
 ③ 1回の授業は、40～60分を予定しています。先生の説明を聞きながら、一緒に実験キットを組み立てた後、それらを使って実験を行います。
 お申込み : 土木学会HPよりお申込みください。(もしくはQRコードから)
 主催 : 公益社団法人土木学会 土木広報センター

応募リーフレット

JSCE 令和3年度の夏はあつちでよ。 実験レポートシート

小学校 年 組 (名前)

4時間目
どぼくかるたで“あいうえお”
 かるた大会のどちゅうで、先生からクイズが出されます。
 お話をよく聞いて、答えを考えてみましょう!!

もんだい 1 **キ** ャットウォーク歩いて後の点検だ
 cat[] + walk[] = cat walk[]
 キャットウォークは、橋だけでなく、
 []、[]、[]、[] にもあります。

もんだい 2 **さ** らざらと流れる小川いつまでも
 ①アカハライモリ ②ニホンヤモリ ③カナヘビ
 ④ヒガシニホトカゲ ⑤シマヘビ

もんだい 3 **ち** の種類はたくさんあるよ
 ①大きさがそろっている ②大きさがバラバラ

もんだい 4 **ね** こ、いぬ、うま、どら動物がいっぱい土木の言葉
 [] [] []

もんだい 5 **リ** ニアなら東京～大阪1時間
 リニア中央新幹線は、時速[] km/hで走ります。
 東京～新大阪間は、[] 時間が[] 時間に短縮されます。

もんだい 6 **る** んるんん家族でドライブ高速道路
 ①プランコ ②鉄棒 ③ずり台 ④シーソー

もんだい 7 **れ** きしある町並み残したまちづくり
 ①電柱を地中に埋めた
 ②神社の石垣を修理した
 ③家を建て直した



イベントで使用したレポートシート

参加者に授与した
『こども博士』の認定証サンプル



オンラインイベントの様子

【記：川上 佐知（土木広報センター 市民交流グループ 土木の魅力グループ長）】

コンクリート委員会 ウェブセミナー Frontiers of Concrete Technology (FCT)

土木学会コンクリート委員会では 2021 年から国際ウェブセミナー Frontiers of Concrete Technology (FCT)を始めました。年に 2 回または 3 回の開催を計画しており、今年は第 1 回を 4 月に、第 2 回を 8 月に開催しました。

セミナーの目的は日本のコンクリート工学に関する先端研究を世界に発信することです。しかし単に日本の研究者の講演をしても海外からの聴講者は増えません。そこで、セミナーのテーマを設定し、そのテーマに取り組む日本人の研究者を 1 名、海外の研究者を 1 名招待し講演を頂きます。更にパネルディスカッションの時間を設け、その研究分野全体の歴史や現状、将来の方向性について話し合ってもらうセミナーとしました。これにより、海外の研究者や技術者の参加者が増えます。またテーマが明確になり、議論の時間もあり、セミナーが魅力的になります。また、日本の参加者にとっても世界の研究の状況を知る機会にもなります。

第 1 回は 4 月 16 日に開催されました。テーマを Use of FRP Composites for Sustainable Concrete Structures とし、深セン大学(中国)の上田 多門教授と香港理工大学の Jian-Guo Dai 教授を講演者として招待しました。セミナーの参加者は約 270 名でした。ウェブセミナーとしたことでアジアを中心に世界中からの参加がありました。

第 2 回は 8 月 4 日に開催されました。テーマは Aging Management of Concrete Structures in Nuclear Power Plants で、名古屋大学の丸山 一平教授とフィンランドの VTT Technical Research Centre of Finland の Miguel Ferreira 博士をお招きしました。また、パネルディスカッションの質を高めるために、モデレーターとして広島大学の半井 健一郎教授を招待しました。セミナー参加者は約 140 名でした。

2 回のセミナーとも、講演者から先端の研究内容や実務的な展開が紹介され、パネルディスカッションでは研究分野全体の状況や将来の方向性が議論されました。参加者は最新の研究を知るだけでなく、議論から研究テーマの背景や、講演者の考え方も知ることができる機会となりました。

セミナーは土木学会の YouTube チャンネルでも見ることができます。

第 1 回 <https://www.youtube.com/watch?v=IP65Dudd6tk>

第 2 回 <https://www.youtube.com/watch?v=ArU-x-oyGig>



第 1 回セミナー



第 2 回セミナー

【記：コンクリート委員会 国際関連小委員会 長井 宏平（東京大学）】

お知らせ

【今後の予定】

第3回 JSCE-CCES ジョイントシンポジウム オンライン (10月20、21日開催)

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/236>

世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ 第19回シンポジウム

「海外交通インフラ運営の展開に向けて」(11月9日開催)

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/234>

◆インフラメンテナンス総合委員会 インフラ体力診断小委員会 関連

- ・インフラ健康診断 英語版 公開

<https://committees.jsce.or.jp/reportcard/node/24>

- ・日本のインフラの「体力」診断

<https://committees.jsce.or.jp/kikaku/node/121>

◆地震工学委員会 関連

- ・若手会員研究成果国際発表支援の募集

<https://committees.jsce.or.jp/eec2/node/189>

- ・次世代地震工学融合研究チームの募集

<https://committees.jsce.or.jp/eec2/node/188>

◆「海外インフラプロジェクトアーカイブス (JSCE ウェブサイト英語版)」

<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>

◆HUCE Newsletter Summer 2021 Issue – August 2021

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/237>

◆JICE 研究開発助成 (応募締切: 10月31日まで)

<https://www.jice.or.jp/review/assurances>

◆第5回 JAPAN コンストラクション国際賞 国土交通大臣表彰
(応募締切: 1月17日まで)

<https://www.mlit.go.jp/JCIA/>

◆米国土木学会(ASCE) 関連

- ・【Zoom ウェビナー】FEMA P-2090/NIST SP-1254, Recommended Options for Improving the Built Environment for Post-Earthquake Reoccupancy and Functional Recovery Time (10/6、12時~13時 (太平洋標準時))

<https://samueli.ucla.edu/fema-webinar-2021/>

- ・International Conference on Sustainable Infrastructure (2021年12月開催@オンライン)

<http://app.message.asce.org/e/es?s=1360&e=713080&elqTrackId=f2b02296aa9c4f699603ed9d506586f4&elq=5dbc17091cf64c9faaaae1d65ba9cab2&elqaid=26738&elqat=1>

- ・ASCE Lifeline Conference 2021 2022 日程変更 2022/1/31-2/4

<https://samueli.ucla.edu/lifelines2021/>

- ・日米合同シンポジウム「インフラ・レジリエンスのための評価・管理・ガバナンス」*シンポジウム録画の視聴可能

<https://www.infrasil.jp/event/01/>

- ◆「旅に出たくなる日本の土木遺産」大河津分水 SNS 投稿まとめ (土木学会 note)

<https://note.com/jsce/n/nc7d5a9096192>



第3回 JSCE-CCES
ジョイントシンポジウム
(10月20、21日開催)



世界で活躍する日本の土木技術者シ
リーズ 第19回シンポジウム
「海外交通インフラ運営の展開に向
けて」(11月9日開催)

◆第 172 回論説(2021 年 9 月版) オピニオン

(1) 究極の危機管理と流域治水

<https://note.com/jsce/n/n42c13c1df3f2>

(2) 着実なインフラ整備・大阪港夢洲の場合

<https://note.com/jsce/n/n24fab99acb97>

◆一般社団法人 海外建設インフラ協会: <http://o-ira.com/>

※「アジア経済新聞」(隔月曜日発行)土木会館に於いて閲覧可能。

◆「国際センターだより」※JSCE ウェブサイト (日本語版)

http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2021

◆土木学会誌 2021 年 10 月号 ※JSCE ウェブサイト (英語版)

<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>

配信申し込み

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

・日本語版: (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)

・英語版: (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

直近の国際センターの活動について紹介しています。

(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

皆様のご意見やコメントをお待ちしております。